

## 2024.07.14. 自分を頼りにする致命的な危険

### 黙示録 3 章 1 節から 4 節

#### JD ファラグ牧師

主よ、私たちはあなたが来られ、私たちを家に連れていってくださる時を待っています。

主よ、私たちはこの時間をあなたに捧げます。お父様、私たちの人生で、貴方がなさる全てに。私たちの心と思いをいつもあなたに集中させてくださいますように。あなたのことばが、空しく帰って来ることがありませんように。(イザヤ 55 : 11 参照)

私たちはあなたを掲げ、感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。お元気ですか？ 会衆：元気です！ 結構です。じゃあ、ご着席ください。来てくださり嬉しいです。オンラインで参加の皆さんも歓迎します。始める前に、お伝えしたいのは、今日は、タマヨ・ペリーの人生の祝いの日です。ノースショで、3時30分から始まります。お知らせしたいのは、この礼拝の、説教の長さについてはすでに牧師に話してあります。牧師を知っているのだから、あなたが島外からお越しなら、ぜひお会いしたいのですが、牧師の説教が終わったら、急がねばなりません。あまり長引かないことを願います。皆さんに十分な時間を取ってもらって、私はもちろん、彼の人生の祝いの司式のために、行かねばなりません。多くの方々のご存知のように、何年もタマヨと妻のアメリアは私たちの教会の一員です。妻のアメリアのために祈って下さい。特に今、ノースショアのために祈って下さい。本当に衝撃的でした。私が心から信じるのは、神が、サメの襲撃によるタマヨの死を用いられ、人々を永遠の命へと導こうとしておられること。タマヨは非常に有名でした。神はそれを用いられます。私のためにどうか祈って下さい。使徒パウロのように、パウロは大変謙虚に祈りを求めました。私はパウロのように謙虚に祈りを求めます。今日の午後、イエスの御名を大胆に宣べ伝えるために。ですから、どうか私のために祈って下さい。3時30分から始まります。ノースショアの人々のために祈りください。

それでは、「ヨハネの黙示録」3章です。始めましょう。今日の箇所は1節から6節です。可能であれば、ご起立いただき、ご無理なら、座ったままでも結構ですので、私が神の御言葉を朗読するのについてきてください。ヨハネが聖霊に導かれ書きますが、イエスが口述しておられます。文字通り、7つの教会宛の7つの手紙です。今、私たちはサルディスの教会に来ています。「ヨハネの黙示録」3章1節を読みます。

#### — ヨハネの黙示録 3 : 1 —

また、サルディスにある教会の御使いに書き送れ。『(注目) 神の七つの御霊と七つの星を持つ方が、こう言われる—。わたしはあなたの行いを知っている。あなたは、生きているとは名ばかりで、実は死んでいる。』

#### — ヨハネの黙示録 3 : 2 —

目を覚まし、死にかけている残りの者たちを力づけなさい。わたしは、あなたの行いがわたしの神の御前に完了したとは見ていない。

#### — ヨハネの黙示録 3 : 3 —

だから、どのように受け、聞いたのか思い起こし、それを守り、悔い改めなさい。目を覚まさないなら、わたしは盗人のように来る。わたしがいつあなたのところに来るか、あなたには決して分からない。

#### — ヨハネの黙示録 3 : 4 —

しかし、サルディスには、わずかだが、その衣を汚さなかった者たちがいる。彼らは白い衣を着

て、わたしとともに歩む。彼らがそれにふさわしい者たちだからである。

一 ヨハネの黙示録 3：5 一

勝利を得る者は、このように白い衣を着せられる。またわたしは、その者の名をいのちの書から決して消しはしない。わたしはその名を、わたしの父の御前と御使いたちの前で言い表す。

一 ヨハネの黙示録 3：6 一

耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。』

ご一緒に祈りましょう。お父様、ありがとうございます。主よ、私たちの前に、この非常に興味深い教会宛の興味深い手紙があります。それには理由があります。私たちは聖霊にお願いします。私たちがこの手紙を通して学ぶ時、聖霊が私たちの教師となり、導き手となってくださり、この手紙から、あなたが私たちのために、ご用意されている全てを受け取れますように。あなたが私たちにご用意されていることを私たちが聞く耳を持ち、見る目を持ちますように。あなたが私たちの人生に語りかけてくださることを、私たちの人生に適応できますように。確かに、それが私たちの聖書にこの教会への手紙がある理由です。ですから、主よ、非常に率直に、はっきりと語ってくださいますか？ 主よ、はっきり語ってください。愚か者でも分かるように、明確にしてください。私たちの人生へ、この教会へのこの手紙の中で/通して。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。では、クリスチャンの人生における

『自分を頼りにする致命的な危険』

についてお話ししたいと思います。自分で、自分自身の肉の力/強さで動くクリスチャンです。

これはサルディスの教会でそのクリスチャンたちに起こったことで、彼らは、自分自身、自分たちの名声、評判に頼っていました。一時はそれなりの知名度もあったようです。彼らは生き生きと、どんどん成長し、進んでいくことで有名でした。他にありますか？ 空欄を埋めて下さい。でもどうやら、彼らが自分たちを見ていたのは、神が彼らを見ておられたのとは正反対でした。彼らが彼ら自身を見ていたのは、彼ら自身に頼って生きていたのです。それを神は、彼らが死んでいると見ておられました。私の望みで、祈りは、私たち全員が、いつも自分自身を含めてのことですが、私にないものを皆さんに教えることはできないからです。私はそれを解釈せねならず、これを伝える前に、自分のものにせねばなりません。いいですか？ ですから、このような説教をする前に、1週間あるのはあなたのせいですよ。怒っていません。ただ、、、仕方ありません。が、真剣に誠実に、私は、、、私たち全員が聖霊に自由にアクセスいただくことを願い祈ります。私たち、こんにちのイエスの教会に聖霊が語っておられることを聞く耳を持つ者のために。まず、概要の地図の手短な参照から始めます。この非常に興味深い都市と、教会のスナップショットをお見せするためです。実際、ご自分でネット検索されることをお勧めします。古代都市サルディスの遺跡を見ることができます。それは本当に魅力的です。断崖絶壁の険しい丘の上にあります。断崖絶壁と言うと、、、写真を入手しようとしたが、どれも著作権で保護されていて、結局必要なのは、、必要性ゼロ。(直訳：そこに穴が必要と同様に必要。) 私の頭にはもう十分な穴があります。しかし、ネットで検索し、古代サルディスの写真を見ると、上下90度、三方が、断崖絶壁。四方は、、、これを確認ください。堀がありました。他のどの都市にも堀はありませんでした。言えるのは、この都市は安全！！ 誰もここには上がってきません。つまり、私たちは安全です。間違いなく。高さ数千フィート。サルディスの三方は険しい断崖絶壁で、その反対側(四方)には堀です。もし誰か忍び込むなら、大小のワニがいるその堀を通らねばなりません。私たちならピラニアも入れますよ。追加料金なし。「牧師さん、ここで地理の授業か歴史の授業を受けているんですか？ なぜこれが重要なんですか？」今にわかります。これはこの手紙を理解する上で非常に重要な意味を持ちます。次に見ていきます。画面は、サルディス教会がいかに自分たちを無敵の存在だと思い込んでいたかを示す、概要の図表でもあります。名は本質です。彼らは自分たちの力/強さ、自分たちの評判、自分たちの名声に頼り、こう言いますね。成功に甘んじて何もしない。(直訳：月桂樹の上に休む)

歴史的状況	名前の解釈	肯定的表現	是正勧告	永遠の動機	預言的啓示	個人的適応
エペソ 最初の教会	去る、離れる、 親愛、 初めの愛から	忍耐力、 識別力	初めの愛から離れた、 (失ったのではない)	いのちの木から食べる	西暦 70～170 頃	思い出し、 悔い改め、 繰り返す
スミルナ 迫害	ミルラ(没薬)。砕かれる時、 香りとなる	貧困、苦しみ の中で豊か	なし	いのちの冠を受ける	西暦 170～312 頃	砕かれた時、 より良くなるか、 苦くなるか
ペルガモン サタンの王座	倒錯/姦淫の 結婚と結合	真実のまま、 放棄せず	性的姦淫/ 霊的姦淫、 偶像崇拜	隠されたマ ナ と新しい名 前	西暦 312～606 頃	世と一緒にでは 清くない
ティアティラ イゼベルの 教理	継続的な犠 牲	愛 信仰 奉 仕 忍耐	欺瞞に満ちた 誘導的教えを容認している	諸国民に 対する権威	西暦 606 頃～ 終わりまで	生きた犠牲の代 価によって 買い取られた
サルディス 栄光に甘んじる	揺るぎない 残り少ない	勤労、 良い名前	手遅れになる前に 眼を覚ましなさい	白い衣を纏い、 いのちの書に名を記される	西暦 1520 頃～ 終わり	夜中の盗人を見 張る
フィラデルフィア 2人の兄弟が 建てた	兄弟愛	神の御言葉 / 御名を守る/ 少しばかりの 強さ	なし	7年の患難から 守られる	西暦 1750 頃～ 終わり	互いの愛によっ て弟子である ことが分かる
ラオデキア 生ぬるい	教会を支配 する俗人信徒	なし	金持ちだが 貧しく、見えるのに 盲目、服を着てい ても裸	イエスと共に 座に着く	西暦 1900 頃～ 終わり	イエスに対して 熱いか 冷たいか

自分たちは無敵だと思い込んでいました。私もそうだったでしょう。断崖絶壁、堀。ですから、彼らは、偽りの感覚に安住し、自分たちに頼りました。起こったことは、彼らは油断し、油断は破滅につながります。ローマ帝国内の都市としてだけでなく、それ以上に重要なのは、サルディスの教会としてです。これを確認ください。サルディスは、入り込めないような崖の上にあり、反対側には堀があるだけでなく、ここは誰も出入りできない場所でした。それが崩壊のまさに理由でした。ここで「どのように」か。堀から入ってくると思いますね？ 私が言ったように。しかし、あの断崖絶壁は実は粘土できていました。侵食が始まり、亀裂が入り始めました。それはまるで、私たちのクリスチャンの命が放置されたまま。私たちは粘土の器、土の器です。本当ではないですか？ 私たちが強く立っていると思う時、「第一コリント人への手紙」10章13節でパウロが語るように、気をつけなさい。自分が安全だと思うなら、自分に頼っています。あなたは断崖絶壁の上で安心して、自分は大丈夫だと。たおれないように気をつけなさい。安全で安心で立っていると思うなら。

(I コリント 10 : 12 参照)

これがその理由です。これについてはペテロに聞いてください。実際、聞かないください。その話に行くので、問題ありません。が、私たちは自分の最も得意とする分野で失敗する傾向があります。な

ぜか？ それはあなたが「私が弱いところではない。」と思う部分だからです。私たちは自分の弱い部分を強化します。敵は、私たちがそうすることを何よりも喜びます。私たちはその弱い部分を補強する一方で、堅固で強いと考える強い部分は考えないから。そして、それが敵が来て攻撃するところです。それがサルディスにまさに起こったことです。ですから、断崖絶壁に亀裂が入り、侵食が始まり、その亀裂が敵にさらされます。敵はそこにアクセスしました。それは2度起こりました。紀元前549年。オンラインに行ってください。これは大変興味をそそられます。見張りの兵士が眠ってしまいました。彼のかぶとが断崖絶壁のひとつを越えて落ちました。彼は、その晩、彼はその絶壁の任務で、目を覚ますと、かぶとが落ちたのに気付きました。そこで彼は取り戻そうと下ります。しかし、どうやってそれを取りに行くのか？ 侵食された崖の割れ目を利用し、上司に見つかる前にかぶとを取りに行きました。彼が知らないうちに、ペルシャ軍が見ていました。その兵士がかぶとを取るために、粘土の割れ目を使って降りてきたのを発見しました。彼らは時間を無駄にせず、同じ道を使い奇襲攻撃しました。サルディスが征服されないと信じた征服をするために。335年後に早送りして、紀元前214年、まさに同じことが起こり、まさに同じ方法で都市が奪われました。こういうことわざをご存知ですね。「歴史は繰り返す。歴史が私たちに教えることは、歴史から何も学ばなければ、そこから学ばない者は、同じことを繰り返し破滅する。」実際、人々が、こういうことわざの引用するのが大嫌いです。それは破滅しかないからです。彼らは破滅しました。死にました。彼らは自分たちが生きていたと思っていました。彼らは人生を生きていました。

「サルディスよ、あなたは分かっていない。あなたは死んでいる。あなたはそれさえ知らない。」これがこの方法で書かれたこの手紙が私たちにある理由です。そのことはサルディスのこの教会に霊的な意味で当てはまりました。彼らは確実に安心し、安全に眠り、何も考える必要はないと。理由は、「誰があの壁を越えるのか？ 誰がその堀を渡るのか？ いや、我々は大丈夫だ。」違います。イエスは仰いました。「あなたは良くない。あなたは死んでいる。目を覚まさない。手遅れになる前に。」私たちの前にあるこの手紙の今日の箇所に入ります。イエスはヨハネに書かせ、書かせるだけでなく、この教会に送らせました。彼らに警告するために。なぜイエスは彼らに警告されるのか？ イエスは彼らを愛しておられるからです。なぜイエスは私たちに事前に警告されるのか？ イエスは私たちをあまりにも愛しすぎておられ、私たち自身の愚かさの結果、私たちが不必要に苦しむことを望んでおられないから。7つの全ての教会への7通の手紙のように、イエスはヨハネに、特定の教会に当てはまる特定の表現を使わせられました。前に話しましたが、再度、手短かに言います。私たちの理解に重要だからです。サルディス宛の手紙をラオディキアに送ることはできません。効果がありません。その手紙が届いたとしたら、「はあ？」彼らは、理解しなかったでしょう。いいえ、ヨハネは具体的にこの手紙をこの教会に伝わる具体的な言葉で書きました。彼らにわかるからです。過去の歴史から、彼らはイエスがヨハネに書かせられた理由を理解しました。思い出して下さい。これは西暦95年頃です。彼らはサルディスという都市の歴史をすでに知っていました。どのように2度倒れたか。これが彼らの考えです。彼らの自信、安心。自分たちの力/強さに、肉のエネルギーに頼る。都市としてだけではなく、教会として。ですから、イエスは彼らにそのことを呼びかけ、はっきりと指摘されます。イエスは何を指摘しておられるのか？ 彼らの偽りの安心感です。それが始まりで、それは自分への自信と自分を頼ることにつながり、私たちが霊的な眠りに誘い、私たちの命を奪います。私たちが目を覚まさないなら。私は、この手紙を3つの方法を分かち合いながら、アプローチし、教えたいと思います。これについて、行ったり来たりしました。ここにはたくさんの方がいるので、私たちに益だと強調したいのです。私は誰も見ません。自分自身に話しているからです。私は自分に頼る博士号があります。自分の力/強さ、自分の知識に頼り、自分自身の理解に依存し、自分自身の知識を信じ、主ではない。私は大得意です。私はしませんけど、できます。私は言えます。自分の力/強さだけで物事をするのがどれだけ得意かを。自分自身の肉の武器で霊的な戦いを戦う。そう、私の肉の武装を見て下さい。準備万端です。主はこのように、

「どう？ うまくいっていますか？」「実は、うまくいってなくて、私はサルディスのようです。で、毎回、結局、失敗してたおれます。」「ではなぜ悔い改めないのですか？ つまり、180度方向転換すればいい。目を覚まさない。悔い改め、残っている者を力づける。」ですから、サルディスのキリスト教と愛称することを避けるための3つの方法を分かち合いたいのです。大丈夫ですか？

サルディスのクリスチャンのあるべきでない3つの、、、実際、タイトルを変更すべきでした。「サルディスのクリスチャンにならないための3つの方法。」信じて下さい。あなたはサルディスのクリスチャンになりたくないからです。サルディスのクリスチャンは聖霊に頼らないからです。それが1つ目で、1節にあります。

1 : 聖霊に頼りなさい。

彼らが頼りにしていたのは、自分自身、自分自身の力/強さ、過去、歴史、自分自身の知恵、知識でした。これが理由です。初っ端から、イエスは、この1章のこの参照を使い、彼ら自身を特定されます。イエスはすべての手紙で参照されますが、この時だけは、イエスは1章から、聖霊の7重の御働きとしてイエスはこの描写を引用されます。お付き合い下さい。これは大変重要です。イエスはヨハネに書かされます。「これは神の七つの御霊を持つ者の言葉である。」それで混乱せず、注目ください。意味は、聖霊の7重の御働きです。私は「働き/行い」を強調します。なぜか？ イエスは「あなたの行いを知っている」と仰ったばかりだからです。

「わたしはあなたの行いを知っている。」(黙示録 3 : 1 参照)

しかし、それは聖霊の御働きではありません。「あなたの行い」です。「あなたの行い」です。それは聖霊の御働きではありません。あなたは行いをするために自分自身に頼っています。聖霊の御働きに頼っていません。それがイエスのご自身を「神の七つの御霊を持つ方」として表される理由です。ここでおそらく明らかになることの1つは、この教会への主からの称賛が目立って欠けていること。お気づきですか？ ラオディキアでさえ、称賛されました。しかし、この教会は称賛なし。最も分かりやすいのは称賛ではなく、叱責だと思います。「わたしはあなたの行いを知っている。」様相が変わります。「わたしはあなたの行いは良いのは知っている。良い働きだ！ わたしはあなたの行いを知っている。あなたのしていることを知っている。あなたがどれだけ一生懸命行いをしているのかわたしは知っている。」いえ、いえ、もっとこうです。「あなたがしていることは分かっている。悔い改めなさい。あなたはあなたが行いをしているからだ。あなたは、聖霊の御働きが必要だ。あなた自身の行いではなく。」それがイエスがこれを指摘される理由です。「わたしはあなたの行い・行動を知っている。」因みに、興味深い、余談ですけど、新約聖書原語のギリシア語で、この単語「行い」や「行動」は、翻訳によって、ギリシャ語:アーゴン/ergon で、英語: エネルギー/energy の語源です。点と点がつながりましたか？ サルディスよ、サルディスのクリスチャンよ、あなたは自分のエネルギーでクリスチャン生活を送っています。自分自身の力/強さのエネルギーで。それは、あなたのエネルギー、あなたの行いであって、聖霊ではあられません。ですから、手遅れになる前に是正する必要があります。悔い改める必要があります。必要なのは聖霊の御働き/エネルギー、聖霊の御力であって、肉ではなく、あなた自身ではありません。言い換えると、彼らは聖霊に頼る代わりに、自分自身のエネルギーに頼っています。それは二者択一の命題です。両方ではありません。まるで、

「いや、私は主に頼っているし、ええ、時には自分に頼ります。」いえ、いえ、いえ、、、頼みますよ。あなたは、自分自身のエネルギーと力/強さに頼っている。最も気の毒なクリスチャンは、自分の力/強さでクリスチャン生活を送ろうとする者です。聖なる人生を生きる唯一の方法は、聖霊によってです。わかりましたか？ これが意味深なのはわかります。聖霊=聖なる人生。聖霊はあなたを力づけ、可能にし、強くしてくださいます。あなたが望むなら、聖なる人生を生きるエネルギーと能力を与えてくださいます。ここで私たちは、神に誓いを立て約束します。「神よ、もう二度としないと約束します。」「サルディスのクリスチャンよ、それがどんな効果ですか？」「よし。自力で自分を奮い立たせ、もっと良くしよう！！」いいえ、あなたは失敗します。今日、あなたは教会を離れると、、、私は誰も見ません。今日、教会を出ると、「OK。主に、約束します。聖書をもっと読む。もっと祈る。」どうかこの説教からそうならないで下さい。特に、私が準備にかけたすべての時間の後で。こう言いながら、今日ここを出てほしくありません。

「もっと良いクリスチャンになる必要がある。もっと祈る必要がある。もっと聖書を読む必要がある。」違います。やめて下さい！ あなたに必要なのは聖霊です。聖霊はあなたの代わりに行いをしてくださるお方だからです。ここを出て、カムハイウェイまで行くと、すでにしくじるでしょ？

違いますか？ ありがとう。皆さんがそう言うから、先に進みます。ですから、これが説明するのは、、、お付き合い下さい。これを通して一緒に考えて下さい。これが当時のサルディスのように、理由を説明するのは、現在、多くの教会は、聖霊のご臨在の欠如、聖霊の御力の不在を補うために、仕掛け/戦略を考え出さねばならない。そう、あなたがこの教会に行ったなら、そこから出るところだと思います。「わお！」しかし、それは彼らです。想像するに、賛美チームは、本当に才能がありました。彼らは本当に素晴らしかった。実際、誰も礼拝すらしていません。彼らは賛美チームに見とれて、楽しんでるだけ。先に進みますから、心配しないで下さい。これからもっと、、、そして牧師が登場。覚えていますか？ 彼らは聖霊に頼っていないからです。聖霊が教会を導いておられません。実際、あえて言えば、聖霊は教会の外に控えておられます。「私たちは聖霊は必要ない。私たちにはこれがあるから。どんな人たちがいるか分かりますか？ 最高の才能を持つ音楽家たちを集めました。幾人かの管理者がいて、彼らは、組織図を描けるんだから。私たちの組織図を見て下さい。」「では、ちょっと見せて下さい。」あなたは組織図を見て、「イエスはどこですか？聖霊はどこですか？イエスはそこにはおられません。あなたは聖霊を組織図から外しました。どうやってそれがうまく行くんですか？」「いいえ、私たちにはこれがある。」で、牧師が上がってきて、聖霊はそこにおられません。じゃあ、牧師は何をするのか？ 彼は人々の注意を引きつけるために、何かを作らねばならない。少なくとも 20 分間、それ以上長くは続けられないからです。牧師や誰かが、神の御言葉の教えの下にいつまでも座わることができるのは、聖霊が注意を引かれ、注意を引き続けられるからです。それが私の仕事内容でないことを神に感謝します。もしそれが私の仕事内容だったら、私は自分をクビにします。ー (笑) ー それは押しつぶされる重圧です。「我々は、進み続けなければならない。関連情報を提供せねば。」私は、この言葉が大嫌いです。私たちは関連情報が要る。関連情報ですか？ 私は、聖書情報が重要だと思いました。神のことばは生きていて、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫く。(ヘブル 4:12)

おお、そうだ、待って。忘れていました。ごめんなさい。ごめんなさい。許してね。聖霊はこの中におられないんだ。だからあなたはこれをしていて、聖霊は、「ええ、わたしは、イエスの御名を称えるためだけにここにいます。サルディスではありません。ですから、あなたが自分の派、所属、名前など、イエスの御名以外のものを宣伝するつもりなら、ごめんなさい。わたしは去らねばなりません。それは、、わたしは、そのためにここにいるわけではありません。わたしは、聖霊の力によってイエスの御名を称えるためだけにここにいます。」ですから聖霊は悲しまれ、消されてしまってもいます。事実、聖霊はサルディス教会から追い出されました。こんにちの多くの教会は、今や、聖霊はおられず、聖霊に導かれていません。その教会のクリスチャンは聖霊に満たされていません。ですから、その空白を埋める何かを考え出さねばなりません。仕掛け/戦略を考えねばなりません。iPad を無料で配布。宣伝しなければなりません。宣伝ですか？ 神が私の証人で、この教会の宣伝をしている人を見たら、私たちのスタッフに知らせていただけますか？ 私たちはしません。本当にこう聞こえました、、(威嚇するような声) ー (笑) ー

やっぱり、私は進み続けます。本当に墓穴を掘っているから。そこに聖霊はどこにもおられません。「あなたはわたしを必要としていないようです。』『自分でできる。自分でこれを手に入れた。』」じゃあね、あんたみたいになりたくないわ。これが西暦 95 年のサルディス教会ではなく、これがこんにちの教会です。どれだけの教会が、再来会者を得るために、ありとあらゆることを考え出すか。で、彼らは説教を短くし続け、人々が聞きたくないことを取り除きます。「人々に戻ってきてほしいから、和らげたり、抑えたりしよう。特にこの部分をね。”あなたは罪びとで、悔い改める必要がある！”いや、その言葉を削除しよう。それはちょっと、人を不快にさせるからね。」福音は攻撃的です。福音は攻撃的です。お世辞を言って地獄に行かせるより、むしろ怒らせてでも天国に連れて行く。私はイエスの御名によって、あなたを不快にしたいと思います。今のは意地悪でした。そんな風に言う必要はありませんでしたけど、言ってしまいました。ー (笑) ー ですから、聖霊はおられません。その重圧を想像できますか？ 彼らは自分の力/強さに頼らねばならなかったことを考えると。聖霊の御力なしで？ これが理由になり得るのか？ なります。イエスはご自身を、神の七つの御霊を持ち、神の言葉を持つ方と言及されましたね？ これは、「イザヤ書」11 章 1 節から 2 節の引用です。読みますので、聞いてください。

ー イザヤ 11:1 ー

エッサイの根株から新芽が生え、(それがイエスです)その根から若枝が出て実を結ぶ。(それがイエスです)

2 節、これに注目ください。一緒に数えましょう。

ー イザヤ 11:2 ー

その上に主の霊 (1) がとどまる。それは知恵 (2) と悟りの霊 (3)、思慮 (4) と力の霊 (5)、主を恐れる (6)、知識の霊 (7) である。

それが聖霊の7つの完全な御業です。イエスがサルディスにこう語られたのは興味深いと思いませんか？「わたしはあなたの行いが不完全であるのがわかりました。」「7」は完成数です。それは未完成です。あなたは行いを完成させる必要があります。行いを完成させる唯一の方法は、それが聖霊の御業であるならです。サルディスのクリスチャンよ、あなたが自分を頼りにして失ったことを見なさい。皆さんではありません。他の誰か、サルディスのクリスチャンです。

あなたは主の御霊 (1) を失っているの？ わお。欄にレ点は入りません。御霊の知恵 (2) は？ それだけでも。おお、私たちは何度祈ったことか？ スタッフ、指導者、牧師として。「おお、神よ、おお、神よ、私たちに上からの知恵をお与えください。自分たちが何をしているのかわからないし、手がかりもありません。」みんなに聞かれます。「秘訣は何ですか？」私は、「秘訣?」「あなたの使命記述書は何ですか？」私はこんな感じで、「プフ?!」それがあんなんで知りませんでした。『使徒の働き』2章42節だと思います。「あなたの戦略は何ですか？」戦略？ 私たちはそのようなものはありません。私たちは来ても、神のお邪魔をしないようにするだけです。これは神の教会です。聖霊よ、御心通りになさってください。私たちはあなたの邪魔をしません。悟りの霊 (3) は？ ちらはどうですか？ 知恵 (2) と悟り (3)。これら2つがそこにあります。おしまいです。聖霊がおられなければ、聖霊の知恵 (2)、悟り (3) 理解がなく、思慮の霊 (4) は、、、これどうですか？ 御力、思慮 (4) と力 (5) の霊、知識の霊 (6)。主を畏れること (7)。

彼らには、それがどれもなかったという意味ですか？ はい。イエスがそう仰っています。彼らはそのすべてを失いました。それが2節から3節の強さを説明します。イエスがヨハネにこう書かせられるところです。「目を覚ましなさい。」

2 : 目を覚まし、用心しなさい。

これはいわゆる本音トーク (話) です。私は本音トーク (話) が好きです。いわば、イエスはどんな手加減もしません。再度、なぜか？ 理由はイエスは怒っておられるから？ 違います。イエスは私たちを愛しておられるからです。それについて考えて下さい。自分の子供や孫について。彼らを愛していなければ、悩むこともありません。それがあなたが彼らに話す理由です。「このことがあなたを傷つけるよりも、私をもっと傷つけることになる。」彼らはそれを信じるでしょう。「私はあなたを愛しているから、あなたを躰けるのです。」「OK。じゃあ、そんな私を愛さないで。そうすればお互いこの惨めさと苦痛の両方から解放されるもん。」しかし、「ヘブル人への手紙」の著者はこう語ります。お仕置きを受けると、自分が神の子であることがわかります。他人の子を叱ることはないからです。それはお勧めしませんよ。しかし、神は愛する者を懲らしめられます。(ヘブル 12:6 参照)それがあなたが神の子であると知る方法です。お仕置きを受けているからです。それがあなたが神の子であるという意味です。あなたは店で、、、いえ、今はそうではありませんね。逮捕されます。親が子供を躰けているのを見ます。あなたはこう思います。「彼らの子供に違いない。」当たり前じゃん！ そう思う？ 他人の子じゃありません。これは是正で、そうする必要があります。神は彼らを、ひいては私たちをお仕置きされています。「手遅れになる前に目を覚ましなさい」と。「死にかけている残りの者たちを力づけなさい。」(黙示録 3:2 前半参照)

言い換えると、あなたがたは、ぎりぎり生命維持装置につながれています。これは、、、この手紙を書いている唯一の理由です。ラブレターです。そのように見えないのはわかります。非常に強烈だ

から。「しかし、わたしは、、、わたしはあなたを本当に愛しているから、あなたを是正する必要があります。」イエスは仰います。「あなたが悔い改めないなら」これについては「聖書預言・アップデート」で話しました。実際、それが「聖書預言・アップデート」のタイトル：「夜の盗人」でした。これは驚くべき慣用句です。私たちは第一礼拝で深く踏み込みました。しかし、もしあなたが悔い改めないなら、不意を突かれるとイエスは仰います。「わたしは夜の盗人のように来る。」（黙示録 3：3 参照）わたしを信じなさい。そのようなわたしの来臨は望みませんね。不意を突かれる。あなたが予期していない時に、あなたの都市で、以前2度あったような。あなたは不意を突かれました。夜の盗人のように、都市が奇襲を受けた時です。」それは夜の盗人の慣用句です。それがイエスのご自身の来臨を夜の盗人にたとえられた理由です。見張らず眠っている多くの人々の不意を突くでしょう。あなたが眠っている時、周りのことに何も気付きません。特に深い眠りの皆さんは。私はすでに第一礼拝で皆さんをボコボコにしましたね。もうしませんけど、深く眠ることができれば、主はあなたを愛しておられます。

「イザヤ書」（詩篇）だと思えます。「主は愛する者に眠りを与えてくださる。」（詩篇 127：2 参照）それが、主は私を愛してくださってるのか、不思議に思わせます。あなたが大変眠りが深いなら、シーツを替えても目を覚ましません。ー（笑）ー いえ、マジで。しかし、レム睡眠の状態、つまり深い眠りの時、周囲で起こっていることにまったく気付きません。逆に、あまり深く眠っていないときもあって、あなたはまだ、その、、、周りで起こっていることに気付きます。おそらく、ストレスの多い生活を送っている現代の私たちの大半を表わすんでしょうけど、ベッドに横になり眠ろうとしても、（神経がたかぶって目が冴えて）少し眠り、ハッと目を覚まして考える。人生に爆弾が落ちて、眠れなくなる。それが私が眠りの深い人たちを好きではない理由です。言っておきます。

ー（笑）ー ですから、イエスが仰っている、「目を覚ましなさい。」とは、「目を覚まし見張り始めなければ、わたしは夜の盗人のように不意を突きあなたを驚かせることになります。」

つまり、くだらない描写をお許しください。しかし、わかっていただけたらと思えます。夜11時に泥棒からメッセージを受け取ることは決してありません。「ねえ、僕は地元の泥棒。午前2時に行く予定だよ。ご都合いかが？ 夜の盗人のように、午前2時に来るよ。」はい。かかってこい！ お待ちしています。それがまさにイエスが仰っていること。彼らは（霊的に）眠っているクリスチャンでした。彼らは目を覚まし、見張り始める必要がありました。これを予期する。イエスが来られることを。

残りの時間をこの最後の1つに費やしたいのです。その理由がわかると思えます。4節から6節で、私は言わせてもらいますが、私たちの救いの確信に関して、サタンの地獄の穴からの、最も成功し、破壊的な嘘の1つです。

3 : 救いの確信。

お付き合い下さい。イエスはサルデイスの彼らに仰いました。

「わたしは、その者の名をいのちの書から決して消しはしない。」（黙示録 3：5 参照）

多くの人が、完全に文脈から取り違え、聖句をねじ曲げ、誤った結論を下し、まんまと悪魔の策略にはまりました。新生クリスチャンとして、いのちの書から名を消され、救いを失う可能性がある。どうか懇願します。実は、はい。私はサッと祈りたいと思えます。祈らせて下さい。お父様、敵はこのことを誰にも聞かせたくありません。ですから、私たちの注意を集中させてくださいますか？ 気が散らないよう、この手紙の結論でこの力強いポイントについて、私たちの思いを迷わせるものが何もないよう、主よ、お願いします。イエスの御名によって、アーメン。

一度救われたら、あなたは救われています。新生/生まれ変わったら、再び生まれ変わることはできません。このように考えて下さい。再度、くだらない描写をお許しください。私の3人の子供が生まれた時、彼らが生まれていないにはなり得ません。そんな風に思った時もありましたけど、、、いやいや。（苦笑） 彼らは生まれました。彼らは生まれていないにはなり得ません。出産のお知らせ



せ。「出産していないお知らせ」はどうですか？ もう一人、生まれていない子がいます。何が起こったの？ 新生/生まれ変わったら、生まれていないはあり得ません。あなたが救われたなら、救いを失うことはあり得ません。どうかお願いします。懇願します。敵にそれをあなたにさせないでください。「はい、でも牧師さん、私が何をしたかご存知ないですね？」気にしません。実際、知りたくもありません。主はご存知です。「はい、でも良くありませんでした。」あなたがそれをした時、夜の盗人のように主を驚かせたとでも思っているのですか？ 神は何と仰いますか？

「もう、いい！ 以上。あなたにはもう我慢の限界だ！ とことん話した。あなたは私に、もう二度とそれをしないと誓ったのに、またやったのか。それまでだ。おしまい！」修正ペンを取り、「いのちの書」からあなたの名を消し始められます。それってなんて不条理なんでしょう？ ところで、当然だと思いませんか？ あなたの論理に訴えていいですか？ 私って、叫んでいます？ 私は怒っていませんよ。しかし、これは非常に情熱的な問題です。うまく言えませんが。皆さんに言います。クリスチャンは、壊れつつあります。彼らは壊れています。このせいで彼らの人生は壊れています。悪霊の教理、悪魔の教理です。パウロはテモテに言います。「悪霊の教理」。(I テモテ 4:1 参照) これがパウロがこう言った理由です。

「救いのかぶとをかぶりなさい」(エペソ 6:17 参照)

それは、戦いの場です。敵から思いを守る。あなたがまだ救われているのかどうか、疑いの思いをあなたに置き始めます。“また”あなたが何かをした後。いいえ、救いのかぶとが思いを守ります。第一礼拝で話しましたね。健康志向の強い皆さんには心から敬意を表します。私は違います。見た目が良ければ、私は体に入れます。私はそれを食べます。体に入れるもの、食べるものに非常に気をつけている人もいますね。私たちの思いはどうですか？ 私たちは何でも思いに入れます。

「すべてのほかりごとを取り押さえて、キリストに服従させます。」(II コリント 10:5 参照)

聞いて下さい。サタンがこんな嘘でノックしてきたら、「ねえ、あなたはもう救われいないかもしれないね。」あなたはこんなふうに、「うう！ そうなのか。」あなたは今や、御霊の領域の外にいます。思い出して下さい。今、あなたは聖霊に頼っておらず、聖霊はおられない。で、あなたは自分の理解に頼り、寄りかかり始めます。それはあなたにとって理にかないます。ある意味効果があるから。「そう、あれはかなりひどかったな。私が救いを失ったかもしれないのは、理にかなう。」しかし、ここで私はあなたの論理に訴えるところです。理にかなっていませんか？ それが当てはまる場合、取り戻すために行いをするのが、それが当てはまる場合、あなたがしたほうがいいのは、、、これ、しないでください。聖書の何ページかを破り始めた方がいい。「エペソ人への手紙」2章8節と9節から始めましょう。

— エペソ 2:8 —

この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。

— エペソ 2:9 —

行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。

一度救われたら、あなたは救われています。なんてこと。もしあなたが、、、私の受信トレイを見ないでください。でも、もし私たちに寄せられる罵詈雑言のメールの数々をご存知なら、、、私がせねばならない全ては、、、彼らは頭文字を使います。彼らは大変賢い。この人たちは、、、OSAS(Once Saved, Always Saved.): 一度救われれば、いつも救われている。それが私の聖書に書かれていること。これは、、、イエスがこう仰る時、「わたしは決して、、、」決してない (never) ってどういう意味？ 決してない (never)。

「わたしは、その者の名をいのちの書から決して消しはしない。」(黙示録 3:5 参照)

それはもしかすると、彼らが悔い改める必要があると気付いたからかもしれません。しかし、また彼

らが悔い改めに必要だったのは、救いの確信だった。それはある種ゲーム・チェンジャー/一変するになり得ます。主との歩みの早い段階で、私は40年以上、42年主と共に歩んできました。何でもいいですけど、計算しないでください。救われたのは5歳のときでした。もうずいぶん昔のことです。当時、私は髪がありましたけど、それは別の話です。歩き始めて間もない頃を覚えています。これは私にとって問題でした。私は認め、告白せねばなりません。私がいい子なら、神も良くしてくださる、という考え方が根深かったからです。でも、もし私が悪い子なら、叱られる。そう、私はいつも天の御父との関係を、地上の父との関係というレンズを通して見ていました。何年もかかりました。神の恵みと憐れみと優しさが、ついに私に通じました。ある人は他の人より濃い。再度、私は誰とも目を合わせません。あなたは自分という者をご存知でしょ。神はついに私に教えてくださり、私を導かれました。

「地上の父親のレンズを通してわたしを見ないこと。わたしはあなたを愛しています。あなたは救われています。あなたができないことは、わたしにあなたを愛さなくさせること。」

そう、これがこのような一節で起こったことです。それが誤引用され、誤使用され、イエスがこう脅しているように捻じ曲げられ、

「あなたは救いを失うかもしれない。」と。これは、私たちが救いを失う可能性があるという脅しではありません。これは、愛に満ちた救世主が、私たちの救いが確かであることを再確認させてくださっているのです。私たちは決して、、、、「わたしは、その者の名をいのちの書から決して消しはしない。」(黙示録 3：5参照)

「分かっているけど、あれは本当にひどかった。」「いや、あなたの名前をブロックするつもりはありません。」サタンがそう言ったのはわかります。実際、サタンはあなたにこう言ったと思います。あなたがサタンにそれを許したから。サタンはノックしに来て、あなたがサタンを招き、夕食を共にしました。サタンはあなたにこう言います。「もちろん、あなたの名はもう外れていると思うよ。消されているのを見たからね。おしまいだよ。」で、あなたは再び救われるために行いに取り組みねばならない。想像できますか？ では、イエスは何のために十字架で死なれたのですか？ あなたは、、、「完了した。」(ヨハネ 19：30参照)ピリオド/以上。コンマで続きがなくて、嬉しくありませんか？ イエスが、「もしも」とか、「しかし」、あるいは条件付きで「完了した。」と仰らなかったのが嬉しくありませんか？「わたしはわたしの役割を果たしたから、あなたは自分の役割を果たしなさい。」とか。それが行いです。これはまた別の話ですけど、サッと、これを言わせて下さい。どうか、謙虚にお願いします。これは別の問題です。これは私の心が痛みます。

「部分携挙説」として知られる誤った教えです。「部分携挙説」とは何か？「部分的携挙説」とは、

「熱心な者だけが、つまり、主のために全力を尽くす、全力を尽くすクリスチャンが引き上げられる。しかし、もしあなたが生ぬるく、後退していて、サルディスのクリスチャンなら、携挙で引き上げられることはないさ。」

という誤った教え。それが行いです。ところで、その線引きはどこにあるのか？ 目安はどこ？ 待って。私は救われたけど、本当に救われていない。絶対！多分、私は救われた、みたいに、、、そんなような、、、その比喻は使わない方がいいですね。いい比喻だけど、使いません。

「そう、私は信仰によって、恵みのゆえに、救われました。神の賜物です。行いによるものではありません。だれも誇ることはないためです。」(エペソ 2：8～9参照)

しかし、携挙で上げられるのにふさわしい人間になるために、それを続けねばならない、という教え。主にあってあまり良い行いではないなら、、、私は救われていますけど、私の主との歩みはかつてほど親密ではない。かつてほど熱心ではない。そしてラッパが鳴って、神は何と仰るのか？

「おいしいところでした。あなたは85%でした。100%の人だけが上がります。」

それは地獄の穴からの教理です。私はたくさん会話/ディベート(討論)をしました。訳すと、議論で

す。この点で、多くの牧師たちとです。理解すべきは、「部分携挙説」は、「一度救われれば、常に救われているは誤った教え」と同居人。一度救われても、あなたは常に救われておらず、救いに留まらねばならないという教え。あなたは救いに留まらねばならない。その間に共通するのは「行い」です。行い。それがサルディスのすべてでした。あなたの行い：不完全/未完成。

届いていません。決して十分ではありません。完成することは決してありません。唯一の方法は聖霊です。あなたがたの間で良い働きを始められた方は完成させるため、忠実であります。(ピリピ 1：6 参照) 方法は? 聖霊によってです。何だって? ガラテヤ人、、、実はほとんど締めくくりです。その希望はあります。「ガラテヤ人への手紙」に、パウロ：「だれがあなたがたを惑わしたのですか。」(ガラテヤ 3：1 参照)

だれがあなたがたを魔法にかけたのですか? 一体何を考えているのですか? これは非常にゆるい言い換えです。あなたは御霊によって始めました。今になって、肉で終わるのですか? あなたは聖霊によって良いスタートを切りました。聖霊に満たされ、聖霊によって力を与えられて。今、自分の力/強さで聖霊の御働きを完成させようとしているのですか? あなたがたは一体どうしたのですか? だれがあなたを惑わしたのですか? (ガラテヤ 3：1 参照)

だれがあなたに魔法をかけたのですか? 他に、、、あ〜。パウロがこう言います。聞いて下さい。この聖句が大好きです。聖なる強さがあるからです。「私たちであれ天の御使いであれ、もし私たちがあなたがたに宣べ伝えた福音に反することを、福音として宣べ伝えるなら、そのような者はのろわれるべきです。」(ガラテヤ 1：8)

それほど強烈な説教です。つまり、私はその強さが大好きです。言い換えると、、、これはキーワードです。誰にも惑わされてはいけません。「させては」パウロはピリピの信徒にこう書きます。「聖霊に支配されなさい。」ギリシャ語ではアンパイア /umpire (審判) と言います。最終的な審判は聖霊に任せなさい。聖霊にあなたの人生を審判していただきなさい。「使徒の働き」での聖霊の御力はデュナミスです。英語のダイナマイトの語源です。それが力です。聖なるクリスチャン生活を生きる力は、聖霊によってのみもたらされます。他に方法はありません。ここでサルディスのクリスチャンたち、彼らはおそらくこう思っています。「私たちは大失敗した。イエスは私たちの名をいのちの書から消すと脅しておられる。」いいえ、イエスは脅しておられません。イエスはあなたを安心させておられます。あなたの名をいのちの書から消すことは決してないと。イエスは彼らを励まそうとしておられます。しかし、あなたがたは、聖霊のもとに戻る必要があります。悔い改める必要があります。180 度向きを変える必要があります。あなたが思いを変えれば、わたしはあなたの心を変えることができ、あなたの心を聖霊で満たせるのです。そうすれば、あなたは溢れるほどに満たされ、あなたの人生は生ける水の奔流のようになります。洪水がどれほど強力か見たことがありますか? 爪楊枝のように家ごと川下に持っていきます。それが聖霊の御力です。自分に頼るのですか? 私たちはその御力に自由にアクセスできるのに? 全能のお方に。私たちは全知全能のお方にアクセスできます。聖霊なる神、神は全能で、すべての力があられます。そのお方が、私たちに内住しておられるのでは? イエスは弟子たちに仰います。

「聞きなさい。わたしは十字架にかかります。」ペテロは、「絶対そんなことはさせません。」(直訳：私の屍体を超えて) (マタイ 16：22 参照) イエスは仰います。「下がれ、サタン。」(マタイ 16：23 参照)

他の弟子たちはペテロにこう言います。「ちょっと黙ってくれないか?」ごめんなさい。それは、、、とにかく、私はこれで向かう先があります。大変深遠です。待つ価値はあります。「わたしはあなたがたを残して行きます。」弟子たちはイエスが去るのを望みませんでした。「嫌です! 行かないでください!」イエスは仰います。「いいえ、実は、行かねばなりません。真実を明かすと、あなたがたはわたしを去らせたいのです。わたしが行かなければ、聖霊を遣わすことができないからです。聖霊があなたがたに内住し、あなたがたを力づけ、満たされるために。ですから今や、神と一緒にいるのではなく、あなたの内に神がおられるのです。」

「わかりました!」「あなたにはまだわたしがいます。わたしはあなたと一緒にいませんけど、わたしはあなたのうちに、あなたに内住し、力を与えます。」

弟子たちはそれがわかりませんでした。幾人かの皆さんの表情のようです。うまく説明できたとは思いません。しかし、神は私たちに内在しておられます。私たちがすべてを主に頼ることができるように、主は私たちを力づける準備ができておられます。つまりすべてです。私たちはこの言葉を引用し歌い、「箴言」3章5節から6節で締めくくります。私たちの幾人がこの約束を愛していますか？ 私たちが3つをし、主が1つされます。「ピリピ人への手紙」4章6節から8節のようです。自分の悟りに頼るな。(箴言 3：5参照)

あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。(箴言 3：6参照)

心を尽くして主に抛り頼め。(箴言 3：5参照)

主はあなたの混乱を正してくださる。主があなたの進む道をまっすぐにされる。(箴言 3：6参照)

私たちは大好きですね？ しかし、私たちがすべての道において主を認めるのはいつですか？ 私たちが理解できないときでは？ 私たちのすべての道において、主を認めないのはいつですか？ 私たちが分かっていると思うときです。いいえ、私たちは主を呼びません。

「いや、私はこれがわかっているから、主を煩わせるつもりはない。任せて。」「OK。」主は私たちにご自分を押し付けるつもりはあられません。聖霊は私たちの内でもがき、悲しんで内住しておられます。聖霊は、準備万端で、もしあなたが、、、「JD・・・」私がチームの犠牲になります。

「JD、あなたが、ただわたしを見て、わたしに頼り、これをするのをわたしに許すなら、あなたに代わって、わたしはあなたを力づけ、わたしの強さ、わたしの力であなたを可能にする。」「ゼカリヤ書」4章6節、『権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって。』と万軍の主は言われる。(ゼカリヤ 4：6参照) ここでゼカリヤは、無尽蔵に供給される2つのオリーブの木が、このともしびに燃料を供給しているという幻を見ました。私たちはそれにアクセスできます。「マタイの福音書」25章は、イスラエルのためです。10人の乙女たちです。そのうちの5人は、、、全員ともしびを用意しています。ともしびは御言葉です。

「あなたのみことばは 私のともしび」(詩篇 119：105参照)

しかし、5人だけが油を用意していました。油：聖霊。

夜の盗人が来たとき、花婿が来たとき、他の5人、聖霊がないサルデイスの者たちは、聖霊(油)を持つ他の5人に尋ねます。「あなたがたのを分けて下さい。」「いいえ。そうはいきません。時間はありません。あなたは自分で用意すべき、目を覚まして注意しているべきでした。あなたは眠っていました。」聖霊は、私たちを罪の贖いのために封印してください。彼らは救われていません。繰り返しますが、彼らはそれを利用し、こう捻じ曲げます。「おい、あなたはまだクリスチャンであるけど、聖霊を持たず、携挙で上がることはない。」

彼らはそんな風に言いました。動画の見過ぎかもしれませんけど。ですから、最後に救いの確信に関する励ましの言葉で締めくくります。もしあなたが神の御霊によって新生/新しく生まれたのなら、、、サッと、1度聞かれたことがあります。良い質問でした。実際、最初は、つまずいて、よろめいて、口ごもりました。その質問は、「自分が新生/生まれ変わったか、どうやってわかるのか？」

でしたから。私はこれを知っておくべきでした。私は墓地/cemetery、いや、神学校/seminary とか、聖書大学には行きませんでしたから。待つ。私は答えがわかります。私は謙虚になりました。私はこう言いました。「何というか、それは本当に良い質問です。」この時、私はその答えを持っていませんでした。「また連絡してもいいですか？」彼は言いました。「もちろん。」で、私は御言葉を深く掘り下げ、祈ります。「神よ、どうすれば、、、」非常にシンプルでした。神が、シンプルにしてくだ

さるのが大好きです。特に私のために。妻が言うには、私は複雑にする賜物があるから。私は彼女に、「それは賜物じゃない」と言おうとすると、彼女はこう言います。「とにかく、あなたはそれを持っているので、何かを複雑にする。」ですから、私は複雑にしていました。大変シンプルでした。神が私のためにシンプルにしてくださいました。子供がいつ生まれるか、どうやってわかるんですか？あなたはこう言いませんね？「どこ？彼らは本当に生まれた？」いえ、それって、やりすぎですか？いえ、彼らが生まれるのがわかります。なぜ？赤ちゃんはいつもおっぱいが欲しいからです。長男が生まれた時、眠れませんでした。私たちは眠れませんでした。「さあハニー、これ。息子におっぱいあげて！おっぱいを欲しがっている。」そして、歯が生え始めたとき、おお、あれは、、、う”～。歯が生え始める時期。親御さん、覚えていますか？以前は眠れないと思っていましたか？今はもう決して眠りません。歯が生え始めると痛いんです。赤ちゃんは、、、歯が生えてくると、おっぱいから固形へと離乳できます。ハイハイから歩いて、走って、そして、、、飛んだり、よじ登ったり、その他もろもろ。子供たちを躰けねばなりません。疑問の余地はありません。ポイントは何か？このポイントで締めくくります。あなたは新生/生まれ変わったことがわかります。神の御言葉というミルクを切望する時、あなたは恵みのうちに成長し、キリストにあって成熟します。そして、クリスチャンとして歯が生えて、それから、神の御言葉の肉を強く望み始めます。

「ヘブル人への手紙 (5:12)」は非常に明確で、大変強いです。あなたたちはもう教師になっているはずなのに、ある人たちは、まだよちよち歩いています。あなたはキリストに辿り着き、あなたは5歳で、まだ哺乳瓶を吸っています。恥を知りなさい。もう教えるべきなのに。あなたは成熟していない。まだ肉も食べられない。成長しなさい。基本的にそう語ります。成熟しなさい。ハイハイから、主にあって歩くようになり、成長するにつれて、レースを走るようになる。新生/生まれ変わったことに疑問の余地はなくなります。これで締めくくります。ディビッド、上がってきて下さい。締めくくらねばなりませんので。ご起立ください。そうすれば締めくくれますので。新生/生まれ変わったなら、それがわかります。日曜学校の歌を覚えていますか？

♪救われたら、手をたたこう♪ ♪救われたら、手をたたこう♪ ♪救われたら、もちろん、人生に現れる♪ そして♪足 鳴らそう♪ 足を鳴らさないでください。— (笑) —

言いたいことはわかりますね。安心してください。これは脅しではありません。これは確信であり、安心感です。まだ希望があります。「はい、私は主から遠ざかり、自分の力/強さに頼っています。私の人生に聖霊の御力が現わされなくなってから、ずいぶん経っています。あまりに久しくて覚えていません。」あなたのために締めくくりに祈りたいのです。神が新たにバプテスマを受け、聖霊の御力で新たに満たしてください。あなたが今日この教会から出て行くとき、この教会に来たときと同じように出て行くことはありません。聖霊の御力が必要です。ですから、祈りましょう。

お父様、どうか、、、あなたはその心をご存知です。私たちは外見しか分かりませんが、あなたはここにいる人、オンラインのすべての人の心をご存知です。あなたはその人生、その心の空虚さをご存知です。今、彼らを聖霊で満たしてくださいますか？聖霊のバプテスマを受けて下さい。主よ、あなたは仰いました。私たちが求めるなら、と。地上の親がパンを与えるように、あなたは私たちに石をお与えになりません。どれほど、、、聖霊を求める者たちに、聖霊を与えてくださるのか。私たちがせねばならない全ては、求めることだけです。ヤコブは言います。

「自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからです。」(ヤコブ 4:2 参照)

ですから主よ、祈ります。私も含め、新たに満たしてください。新たにバプテスマを受けて下さい。

お許しください。私は個性が強いからです。私はやる気が強く、聖霊の御力と戦っているのがわかります。自分の力/強さだけで動く時に。私がそうしている時、あなたが教えて下さいます。

ですから主よ、私をお許し下さい。自分を頼りにし、自分の力/強さ、自分自身の能力、才能、賜物に頼ることを。そもそもあなたが与えてくださったものです。あなたが下さいました。すべての良い贈り物、完全な贈り物は、あなたからです。(ヤコブ 1:17 参照)

主よ、私は祈ります。私たちがこの後、それぞれ帰路につく時、元気な足取りで、新たな歌を口ずさみ、聖霊の御力によって、決して後戻りしませんように。

主よ、救いを疑っている人は、それを今すぐここで終わらせ、二度と戻らないことを祈ります。あなたは私たちの名をいのちの書から決して消されないからです。私たちが新生/新しく生まれ変わり、あなたがご存知なら、その書から私たちの名が消されることはありません。主よ、そのことを感謝します。私たちはその安心感が必要でした。聖霊に感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリー・カネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7